

1. 日時 2025年11月29日(土)15:00～17:15

2. 場所 Zoom

3. 出席者 敬称略、( )欠席 <>未確認

総支部長 竹田 智彦

副総支部長 山崎 成 宮澤 信一郎 増田 悦夫 <岡村 衡>

会計担当 中里 明子

監査担当 渡辺 一夫

組織担当 (久間由利子) 岩本 茂子

幹事 (篠原 力) 宮保 憲治 (西野 幸博) (來住 直人) (細井 淳司)

望月 英之 (渡辺 和典) (大島 成喜) (島崎 俊介)

顧問 [今井 高介:ご逝去] 傘 義冬 <小出 昌寿>

北部地区 山森 信生 <梅北 千広> <佐藤 亨> <堀田 芳洋>

以上 出席者 11名

4. 議題

(1) 群馬地区第1回懇談会(秋の交流会・北部地区部会総会)の振り返り

(2) 新潟地区第2回懇談会の振り返り

(3) 20周年の総会について(4)

(4) 1/17(土)の第7回役員会&新年会について

(5) 今後の予定

4. 0 故今井高介顧問(11月10日(月)ご逝去 享年75歳 11月27日ご葬儀)

首都圏総支部活動への多大なご貢献に感謝し、御冥福を祈って黙祷を捧げました。

4. 1 群馬地区第一回懇談会(秋の交流会・北部地区部会総会)の振り返り

添付：2\_2025年度 群馬地区第1回懇談会開催報告 (N)

3\_2025年群馬地区第1回議事録(案)(改訂4版)

4\_2025年群馬地区第1回懇談会出席者名簿 rev6

(1) 参加者

総会 : 29名 (現地23名、リモート6名)

首都圏総支部25名(ご講演者1名含む)、長野支部1名、ご家族3名

群馬県ゆかりの方14名

懇親会 : 23名 首都圏総支部19名(ご講演者1名含む)、長野支部1名、ご家族3名

群馬県ゆかりの方11名

(2) 振り返り(添付「2\_251121 群馬地区第1回懇談会の振り返り」参照、以下は Gemini 要約を編集)

要点まとめ (supported by Google Gemini)

1. 増田 悦夫さん

• 全体・会場について

○ 細部まで行き届いた緻密な準備が、イベントの充実、ミス防止につながった。

○ 会場は駅近くで遠方参加者にとって便利だった。

○ 総会・記念講演の会場(バンケット)は、気が散らずイベントに集中できる環境で、聞き取り易かった。

- 参加者について
  - 群馬地区参加者が多めで良かった。
  - 新規参加者をリピートにつなげるため、リピート意向の確認を含んだ簡単なアンケート（参加理由、感想・意見、再参加意向とその理由など）をお礼メールのタイミングなどで実施してみてもどうか。
  - 家族ぐるみで参加されている方(望月様ご一家)への敬意を表し、お子さんが退屈しないよう、総会や記念講演の際に興味を持てるもの（ゲームなど）を事前に考慮しておくのが良い<sup>6</sup>。
- 写真担当として
  - 今回、途中でメモリ不足、バッテリー不足が生じたため、必要な写真が撮り切れるよう、今後のリスク管理が必要だと感じた<sup>7</sup>。

## 2. 渡辺 一夫さん

- 運営・内容
  - 準備から当日の運営まで役員に感謝。リモートで観る限り、総会、講演会ともにスムーズな運営だった。
  - 講演会は大変興味深く、多くの人に聴いてもらいたい内容だった。
- 参加者増加への疑問と提案
  - リモート参加であればもっと気軽に多くの方が参加できるはずなのに、同期に聞いたところ、開催案内メールを受け取っていない人がいた。
  - 開催案内がどの範囲まで、どのような手段で届いているのか疑問がある<sup>12</sup>。地区懇談会以外の首都圏支部会員への案内方法をどうしているか確認したい。
  - 参加者の半数位が役員とその家族に留まり、一般会員の参加が少ない現状を鑑み、現地・リモートの参加者を増やす方法を検討したい<sup>14</sup>。
    - （開催案内は9/25(木)に首都圏総支部正会員（メールアドレス登録者）3,330人に一斉メール配信済み：竹田追記）

## 3. 宮澤 信一郎さん

- 準備・運営体制
  - 開催に尽力された方々、参加者に厚く御礼を述べた。
  - 企画を早く始めたものの、開催前一週間はほとんど掛かりきりになり、本業に手が回らなかった。来年はもっと余裕をもって進めたい。
  - 書記と司会を担当したが、総会中は連絡・調整に追われ総会に専念できなかった。議事録作成を担う書記は、企画者以外の方をお願いする必要があると痛感した。報告書と議事録の両方担当は負担が大きかったため、書記は別の方をお願いしたい。
- 二次会予約
  - 二次会の予約人数把握が難しかったため、案内（葉書やメール）の際に二次会の参加希望も併せて確認できるようにしてほしい。
- 企画内容（母校との連携）
  - 地方在住の校友は、母校の現在の様子や大学近況、将来計画に関心が高い。
  - 本来は学長や広報担当の副学長に直接話を伺いたいが、難しい場合は、現職教員である首都圏総支部役員から説明いただくと、母校を身近に感じ、帰属意識も高まる。
  - 他の2大学の校友会では、広報担当の大学役員が挨拶に来ており、大学新聞やパンフレットが配布されている。
- 企画内容（校歌斉唱）

- 他の校友会では必ず校歌斉唱から始まっており、愛校心や帰属意識が高まる。
- 電通大の校歌が存在するならば斉唱した方が良い。楽譜配布や録音を流せば歌えるはず。
- 企画内容（講演者）
  - 地方では本学出身の大学教員を講演者として招くのが難しいため、他大学出身の大学教員や実業家など、本学出身か否かにかかわらず、各分野で活躍されている方に講師をお願いすることを検討する必要がある。
  - 講演に限らず、友情出演として芸事や演奏関係の方々にも協力いただけるよう対象を広げることが望ましい。
  - 山路先生は今後サポートして頂けるとのこと。

#### 4. 竹田 智彦

- 企画・協力者への感謝
  - 宮澤氏・中里氏が発起人となって企画段階から現地調査などを行い、宮澤氏が細部にわたる企画をまとめたおかげで、本部事務局との連携等に時間をあてることができた。
  - 来賓を除く首都圏総支部会員数で総会を上回る参加者となり良かった。
  - 望月氏が機材関係担当を務めてくださり、運営全体に気を配ることができた。
  - 資料コピーは山崎氏がカバーしてくれた。
- 懇親会
  - 懇親会を円卓着席式、料理をビュッフェでなく配膳式にしたことで、落ち着いて会話や話を聴くことができた。
- 備品管理
  - 名札を総会で回収したままにしていたためケースが変形し、直前に温めて平らにする手間がかかった（新潟では中里氏が名札の作成・管理を担当してくれた。

#### 5. その他

- 大学側、目黒会本部には現在声をかけていないが、地区の方の要望があれば考慮必要。（依頼するときはいずれも目黒会本部を通す必要あり。）

#### (3) 今後の課題

- ①企画を今回のようにしっかり行う。
- ②現地の会員も加えながら、役割分担を行って、まとめ役の方が全体をみられるようにする。
- ③会員への連絡方法・・・メールがきちんと届いているかなど
- ④大学、目黒会幹部等の地区懇談会への招待、声掛けによる最新情報の展開。大学側の資料配布。
- ⑤機材の準備と管理
- ⑥活動の最前線である地区部会への本部からの物心両面の支援が必要

#### 4. 2 新潟地区第二回懇談会の振り返り

添付：4\_251124 新潟地区第2回懇談会アンケート00

5\_2025年度 目黒会首都圏総支部新潟第2回懇談会報告書-1(案)rev1

6\_251115 新潟地区第2回懇談会写真01


7\_2025年新潟地区第2回懇談会出席者名簿 rev3

#### (1) 参加者

講演会：18名（現地15名[ご講演者、ご家族含む]、リモート3名）  
 首都圏総支部17名(ご講演者1名含む)、ご家族1名

うち、新潟県ゆかり 9名  
懇親会 : 15名 首都圏総支部 14名(ご講演者 1名含む)、ご家族 1名  
うち、新潟県ゆかり 8名

(2) 振り返り(添付「4\_251124 新潟地区第2回懇談会アンケート 00」参照、以下は Gemini 要約を編集)

 新潟地区第2回懇談会 アンケート要点まとめ (supported by Google Gemini)

### 1.A氏

- 開会挨拶
  - 簡潔で結構だった。今井氏のご逝去に際して心よりお悔やみを述べられた。
- 特別講演
  - 岡村氏の講演を興味深く拝聴した。
- 懇親会
  - 食事もおいしく、皆様の近況報告も(昨年より)簡潔で良かった。
  - 全員の方と会話できなかったのが少し残念だった(個人の反省点として、食事に専念して席を温めすぎたことを挙げている)。
- 二次会
  - 会場が近くて良かった。
- 開催時期・場所など
  - 時期、場所ともに良かった。
  - 新潟駅近くは交通の便もよく、観光にも適していたと思う。
  - 次回の候補として、「弥彦」(温泉、神社)や「越後湯沢」(温泉、八海山酒造の雪室など)を提案した。
- 全体を通して
  - 良かったと思う。幹事の方々に大変感謝している。
  - お子さん同伴では落ち着いて会話できないので、ご遠慮していただきたい、と要望した。  
=>これに対し竹田より、首都圏総支部の方針として「家族ぐるみ、友人知人も参加できる暖かくオープンな活動」を掲げている背景を説明しつつ、懇談会は同窓生とじっくり話すことが第一であるため、今後どのようにするか検討する旨を回答した。

### 2. B氏

- 特別講演
  - レーザーポインターを用意してあげると、説明しやすかったのではないかと。
- 全体を通して
  - フランクな雰囲気、とても良かったと思う。
- その他
  - 開会挨拶、懇親会、二次会、開催時期・場所について、特別な記載事項はなし。

### 3. C氏

- 次回への意向
  - 次回はスタッフでお手伝いさせて頂きたい、とのこと。

(3) 今後の課題

- ① 次回の開催場所の検討
- ② 今回のような自己紹介、近況報告など会話がじっくりできる雰囲気の確保
- ③ スタッフの拡大

#### 4. 3 20周年の総会について(4)

(1) 日時：2026年9月12日(土) 14:30～19:00

(2) 場所：100周年記念ホール

(3) 前回までの意見

- ・20周年記念総会へ向けてのチェックポイントは?=> 会場予約、スケジュール、懇親会場メニューなど
- ・20周年記念総会のキャッチフレーズなど企画を早めに決めた方が良い。(6/28 役員会からスタート)
- ・ハルモニアは5000円で飲み物がすぐなくなるので、もう少し改善できないか。料理も早くなる。=>コース料金の値上げ、ドリンク持ち込みを検討する。
- ・懇親会に参加者が興味を持てるような何らかの企画を入れたい。
- ・目標人数を決めた方が良い。
- ・新潟、群馬などからの参加を歓迎
- ・早めに準備を開始した方が良い。
- ・20周年続けてきて過去どうだったか、過去の日程、役員とか歩みを記録として残して、総会議案書の付録にするとか、pdfのWebUPでもよいので過去を振り返って将来を展望するような形にしてはどうか。
- ・功労者表彰などはどうか。
- ・歴代総支部長の座談会なども良いのでは。
- ・発足当時の苦労話
- ・大学、業界、嘶家などで人を集める工夫が必要

(4) 企画

イベント企画(総会だけ or 年会通じた企画)、Webサイト、動画、ポスター、20周年誌、ノベルティ

- ・全体のスケジュール
- ・実施項目

(ディスカッション)

増田さん：これまでの歩みは20周年誌としてまとめたい。(例、巻頭言、第一部 あゆみ(年表)、第二部 今後に向けて、歴代役員の懇談会)

岩本さん：写真も整理してまとめたい。=> 動画風に

岩本さん：女子会で幟を作成して重宝している。首都圏総支部でも作ってはどうか。

=> 次回1/17(土)の役員会で企画を固めたい。

(5) 年間のイベント日程

① 母校の桜を見る会

開催日 4月4日(土) 午後

場所等企画は次回役員会にて検討する。

② 秋の交流会

開催日 10月31日(土)

場所 候補 茨城県内 山梨県内 栃木県内

③新潟地区第3回懇談会

開催日 月 日

④群馬地区第2回懇談会

開催日 月 日

=> 新潟と群馬の懇談会については現地幹事の意向を踏まえて対応する。

20周年に合流という案も含めて。

#### 4. 4 1/17(土)の第7回役員会&新年会について

(1) 2025年度第7回役員会 1月17日(土)15:00-17:00

- 1) 次年度総会の企画(5)(日時、場所、プログラムの概要)
- 2) 母校の桜を見る会の企画(1)
- 3) 秋の交流会+地区懇談会の企画(1)
- 4) 国内支部委員会への要望事項、予算要求について
- 5) 今後の予定

=> 会議場所 14-17時 15名。調布近辺(例.たづくり)=> 調布在住者に予約をお願いしてみる。

(2) 新年会 17:30~19:30

※1案 17-unosette- (ウノセツテ)

※2案 中華園(調布駅前) 4,300円(飲み放題付き) もあるので検討してみる

#### 4. 5 今後の予定

(1) 1月17日(土) 15:00-17:00 2025年度第7回役員会 場所決定次第別途連絡  
17:30- 新年会 於:調布 検討中

(2) 1月24日(土) 15:00-18:00 2025年度第2回国内支部委員会 竹田出席予定  
四国支部現地担当 松山市内

#### 5. 写真撮影(Zoom画面のスクリーン・ショット)



以上